

**ライフサイクル5 青年期 13歳~22・30歳**

同一性 vs 同一性拡散

<b>特徴</b>	<p>疾風怒濤（しっふうどう）の時代と言われ、さまざまな面で激しく変化する時期。身体的運動的機能においては人生のピークにあり、性的機能も完成して、生物的な人間としては大人と変わらない力を持っている。知的機能においても、抽象的論理的な思考ができ、科学や芸術に関心を示すようになる。</p> <p>自分の能力や容姿や性格など、自分自身に目を向けるようになる。新しい自分を発見し、それを表現する方法を探し、能力を試したいと思うようになる。子ども扱いされることを嫌がり、親の干渉を避けて、自分の力で自分の世界を求めようとする。ただし、理想だけが先行して、現実の自分との間に大きなギャップが生じる。現実との矛盾に対する不満は、身近な親や教師に向けられる。第2反抗期である。</p> <p>親離れの現象が始まり、家庭にいるよりも、同年代の仲間との交遊や異性との交際に時間を費やすようになる。友だちは、相手の性格や学業成績、趣味や家庭環境などを自分と照らし合わせて選ぶようになる。そして、友だちに不安や悩みを相談する。友人関係は、お互いの選択によって形成された対等な人間関係なので、自分勝手な行動やわがままな意見は受け入れられない。クラブ活動などは、自分の能力に応じた役割を持つ役割実験の場となる。</p> <p>性差が明確になり、男子は、異性の体に強い興味を示し、異性の顔やスタイルの好みははっきりしてくる。女子は、異性の目に映る自分を強く意識し、自分の容姿をひどく気にするようになる。</p>						
1	誰も自分のことを理解してくれないように思う。	-					
2	今と違う顔つきや体つきであってほしいとはめったに思わない。						
3	うまく課題をやり遂げても、それを理解したり、評価してくれるとは思えない。	-					
4	生涯の仕事は決めていないが、とりあえず2～3年の計画はある。						
5	これまで、私の仲間は私の能力について正当な評価をしてくれなかった。	-					
6	私は、今自分が生きている生き方にかなり満足している。						
7	私のやり方は、他人に誤解を受けることが多い。	-					
8	将来自分が何をしたいか確信をもっており、はっきりした目標を持っている。						
同一性      15      10      5      0      -5      -10      -15      同一性拡散							
<b>課題</b>	<p>今まで作り上げてきた自分を統合して、本当の自分とは何か、自分は本当は何をしたいのかという同一性を自分の力で自分の責任において獲得する時期。うまくいかないと、自分がますますわからなくなる同一性拡散の状態に陥る。</p>						
<b>達成</b>	<p>自分にとっても他者にとっても、自分は自分であるという確固たる自信がある。 理想や望ましい自分を選択し、それから逸脱した自分を放棄する。</p>	<b>危機</b>	<p>病的なほど慎重になり不安になる。 困難な状況が生じると、自分で自分がわからなくなる。 さまざまな形で逃避を企てる。</p>				